

回答 老木の桜が増えています。が、移植の段取りにはなっておりません。弘前市では、樹齢100年のものを200年に延ばすため剪定作業を行い成功事例となつていきます。本町も痛みの激しい桜の剪定作業を進めていきます。現状を見極め、かかる経費には町民の皆さんのご理解をいただきながら進めていきます。

質問 一目千本桜が「遊歩百選」にもなっている。活用PRをしてほしい。桜が終わった後にサイクリングロードなどに活用できないか。
回答 白石川右岸河川敷の活用としてサイクリングロードを周辺市町と連携し、つなげられればと考えています。

質問 外国人旅行者の立場で考えると、花見時期の仮設トイレは使いたくないと聞く。気持ちよく使えるトイレの設置。リピーターになつてもらうために集会所を利用したお茶接待など検討したが、町も考えてほしい。
回答 トイレは観光にすぐ大切な視点。集会所は洋式トイレにしないと活用が難しい。世代交流いきいきプラザで何ができるのか検討してみます。

質問 外国人旅行者の立場で考えると、花見時期の仮設トイレは使いたくないと聞く。気持ちよく使えるトイレの設置。リピーターになつてもらうために集会所を利用したお茶接待など検討したが、町も考えてほしい。
回答 トイレは観光にすぐ大切な視点。集会所は洋式トイレにしないと活用が難しい。世代交流いきいきプラザで何ができるのか検討してみます。

質問 イノシシが多く困っている。年間100頭以上駆除する協力的なハンターはいるが、処理に困っている。衛生センター等で処理できないか。
回答 仙南クリーンセンターでは丸ごと1頭の処分はできません。解体してから焼却です。解体処分は蔵王や川崎に行くことになりました。運ぶ手間も大変だと思えます。イノシシの対応は仙南地域全体で議論を進めていきます。



11月14日(火)夜間
大河原町役場
参加者 23人

懇談テーマ②
駅前や商店街活性化について
(末広橋拡幅等含む)

説明 平成29年5月に実施した住民満足度調査において、駅前や商店街が寂しいという意見が多くあり、街中のにぎわいをどう出していくのが課題。また、末広橋については車のすれ違いがギリギリであり、接続する道路も含めて拡幅を県に要望しています。
△質問・意見なし▽

※町から介護保険や生活支援など高齢者への支援について説明
質問 高齢者の一人暮らしの支援を町が行ってほしい。
回答 高齢者の単身世帯が町内で1000世帯を超えています。団塊の世代の皆さんが75歳となる2025年を目指し、医療福祉・地域などが連携する「地域包括ケアシステム」の体制を整え、高齢者が一人暮らしになつても安心して地域で暮らし続けられる環境づくりに努めます。

11月13日(月)夜間
橋本交流センター
参加者 39人

懇談テーマ①
西地区の将来像について

説明 西地区に位置する小山田区・橋本区・福田区・小島区に關しまして、小島区を除く3つの区で人口減少、高齢化が進んでいます。農村地域であることから農業の後継者不足、耕作放棄地などの問題もあります。高齢化が進んだときの見守り体制も危惧されます。

質問 福田地区は高齢化し、生まれる人は少ない。若い人は街中に家を建ててしまふ。稲作農家も本当に少なく作り手がない。先が見えない。
回答 役場の力だけで何ともい

懇談テーマ①
中央公民館リニューアル事業と商店街活性化について

説明 中央公民館に起業・創業の相談窓口や観光物産情報拠点などを含め複合化するためのリニューアル工事を進めています。様々な分野の人が町の中心にある公民館を訪れ、連携することで、商店街の活性化を含めた町全体のにぎわい創出につなげていきます。

質問 公民館の複合化に合わせ、駐車場は十分確保されるのか。

回答 現状では十分な用地がなく、周辺の空き地等、土日には事業所の駐車場を活用できないか交渉していききたいと考えています。

質問 施設に移住・定住の窓口がないのが残念。育メン調理教室、インバウンド用英語勉強会などもよい。商店街活性化はイベントでの活性化、起業では狭くてもできるビジネスクリエーターなどに貸してはどうか。商店街の歩道が狭いので無電柱化はどうか。
回答 公民館内で移住・定住の相談の受付できる場、育メン調理教室、英語勉強会など、様々な可能性ががあります。ご意見は参



説明 西地区に位置する小山田区・橋本区・福田区・小島区に關しまして、小島区を除く3つの区で人口減少、高齢化が進んでいます。農村地域であることから農業の後継者不足、耕作放棄地などの問題もあります。高齢化が進んだときの見守り体制も危惧されます。

質問 町有地である福田の山に、人が集まるような施設整備をするなど有効活用できないか。
回答 何かできないか考えていますが、道路もなく、水道・下水道等インフラ整備がない状態で活用のハードルはかなり高いです。大きな投資が必要です。町有地を活用したい企業等があれば検討していただきたいと考えています。

質問 何人くらい起業を想定、その実数値はあるのか。空き家を借りるための橋渡し方策は検討したのか。
回答 行政への新規起業の相談は残念ながら少ない現状です。空き家活用はマッチング段階でアドバイスできるよう商工会とともに検討していきます。

懇談テーマ②
行政区の見直し、子育て支援について

説明 (行政区の見直し) 区画整理により、地区住民が何倍にも増えている行政区があります。しかし、元々の在住の住民は高齢者が多く、区画整理地は若い世代が多いという構成から、区の運営に苦勞なされていく現状があります。ただ、分割するにも若い世代が多い区域の地区運営は、役員の手不足などから支障が出るものと想定されます。

ないところであり。高齢世帯が多くなるなかで助け合い、支え合いが重要。「地域包括ケアシステム」の体制を整えていきます。農業の担い手の募集もしていますが、なかなか希望条件とマッチングしない状況です。

質問 国の減反政策が終了していきなから、減反後耕作放棄地がある、また1〜2年で水田に戻すのも難しい。農業後継者の確保はどうするのか。
回答 減反分の田の復田に関して国からの提案はありませんが、できる人は復田をお願いします。田の集約化を進めるほ場整備につなげていきます。後継者確保は国も実施していますが、やる気のある担い手募集という形しかない状況です。

質問 町有地である福田の山に、人が集まるような施設整備をするなど有効活用できないか。
回答 何かできないか考えていますが、道路もなく、水道・下水道等インフラ整備がない状態で活用のハードルはかなり高いです。大きな投資が必要です。町有地を活用したい企業等があれば検討していただきたいと考えています。

質問 何を境に範囲が決まったのか。また、若い世帯と高齢者の世帯が混在しておりコミュニティの形成が難しい。上町1区は広表まで広い範囲まで面倒見るので大変である。
回答 確かに行政区の区割りはわかりにくい。昔決めたことが今まで引き継がれているため、と思います。若い方が多い区域、高齢のかたが多い区域の行政区内の混在は町としても課題と考えています。解決には時間を要すると思います。行政区へのアンケート調査を行い、その結果を活用しながらご意見を伺う場を設けたいと思います。

説明 (子育て支援) 子育て支援の充実には定住者を増やすポイントでもあります。現在、保育に関しては待機児童がおり、また保育士確保も課題になっています。今後の充実策は老朽化している桜保育所を建替えし、障がい児保育、食物アレルギー対策など保育体制を整えていきます。
△質問・意見なし▽

質問 上町2区の範囲がわかりづ